

# 台中市北区表敬訪問報告書

令和5年2月10日

貝塚市議会議員 藪内留治 殿

自由市民 食野雅由  
(議長) 藪内留治

昨年、貝塚市との間で友好都市締結を結んだ、中華民国台中市北区において、コロナ感染症の影響が弱まり表敬訪問がようやくできるようになり、今回初めて公式に表敬訪問する運びとなり市長をはじめとする理事者とともに議会も参加することとなりました。これまでの台中市北区との友好都市締結からの交流は、締結式から会議まで全てウェブによるもので、初めて対面による交流はとても意義のあるものであると期待をしておりました。

参加者は、理事者側が酒井市長、河野副市長、茶谷都市政策部長、梅本広報交流課長で、議会側として藪内議長、南野副議長、真利議員、平岩議員、中川議員、樽谷議員、井谷議会事務局長と食野でありました。

2月5日(日)午前9時30分に市役所に集合し関西国際空港から空路台北桃園国際空港に到着、その後バス、台湾新幹線を乗り継ぎ現地時間6時ごろにホテルに到着しました。

2月6日(月)は午前11時から台中市北区役所においての友好交流会に臨みました。



北区役所玄関の歓迎の電光掲示



終了後の記念撮影

まず、北区役所に着くと、歓迎の電光掲示板が我々を出迎えてくれました。そして、5階の会議室に案内され交流会が始まりました。台中市北区の参加者は、台中市政府(政令指定都市)から呉民政局長、林科長、北区役所から陳代理区長、王民政課長、張社会課長、

江公用及建設課長、劉人文課長、他多くの職員そして台中市議会から陳議員の秘書が出席されていました。そして、林世瑋台中市政府民政局長の歓迎の挨拶がありその後、酒井市長の答礼の挨拶をしました。そして出席者の紹介があり、台中市北区と貝塚市のプロモーションビデオを観てから、両者のこれまでの政策についての意見交換がありました。そのテーマは、国際交流、教育問題、コロナ対策などで活発な意見交換でありました。その後、互いの記念品を交換して、記念撮影をしました。感想として、対面での交流はとても大事で意義深いものであると感じました。交流会終了後、区内のレストランで昼食会がありその席でも交流を深めました。

午後からは、北区が管理運営している台中市孔廟を視察しました。当日は、閉廟日にも関わらず我々の為に視察をして頂いた上に、丁寧な説明を受けました。



台中市孔廟の視察の様子

台中市孔廟の視察を終えてから、貝塚市と台中市北区との友好都市締結に大いに貢献のあった国立臺中科技大学を表敬訪問しました。



国立臺中科技大学での視察の様子

国立臺中科技大学では何度も貝塚市を訪れている関係で、とてもフレンドリーな雰囲気です。貝塚市では主にK A I F Aが交流を担っていただいています。

バーの高齢化が進み、これからの取り組みの大きな課題となっているのが気がかりです。新たな対策を考えなくてはいけないと思いました。貝塚市として友好都市締結を結んだ以上、市としてのK A I F Aへの援助を含む支援や市としての施策としてバージョンアップを図らなければならないと思いました。

2月7日（火）現地時間9時30分にホテルを出発し台湾新幹線台中駅から台北桃園国際空港を13時発の便で関西国際空港に日本時間16時過ぎに到着、入国審査後市役所に17時過ぎに無事到着し解散をしました。

感想として、3日間訪問であったが、実際の交流が1日しか出来ずもう1日滞在出来ればと感じました。又、手厚い歓迎をして頂いたので、次に台中市北区の訪問団が貝塚市を訪問される機会には、それ相応のおもてなしが必要と思いました。以上、友好都市台中市北区表敬訪問の報告と致します。